

県土マネジメントを推進し、住みよいまちづくりをします。

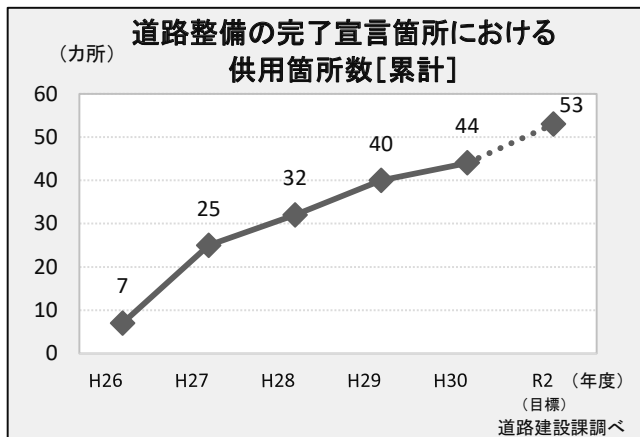
効率的・効果的な基盤整備と県土マネジメントの推進

目指す姿

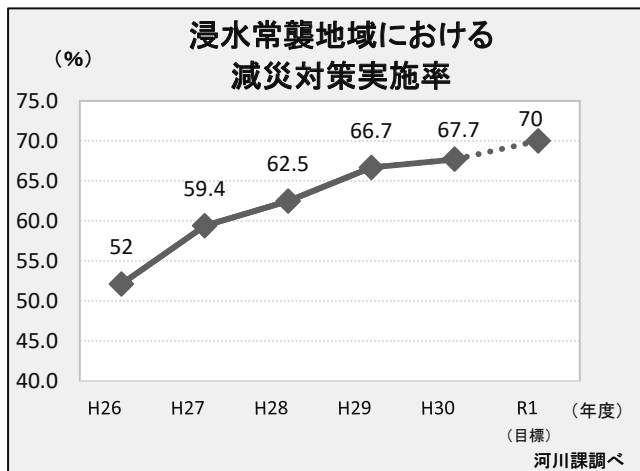
令和2(2020)年度までに、道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数を累計53カ所にし、浸水常襲地域における被害軽減のための減災対策を概ね7割の地域で完了させるなど、経済の活性化やくらしの向上に資する基盤整備の取組を進めます。

主担当部局(長)名
県土マネジメント部長 山田 哲也

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

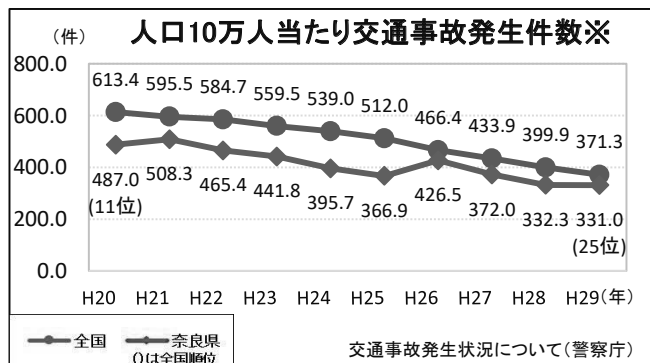


指標	道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数[累計](カ所)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	7	↑	44	80.4%	53
進捗状況	H26(2014)	37カ所	H30(2018)	4年目 6	R2(2020)
	供用予定年度を公表している53カ所の道路整備の完了宣言箇所について、重点的に整備し、平成30年度は新たに、県道古瀬小殿線朝町工区等4カ所を供用した結果、供用箇所は累計44カ所となり、目標に向かって順調に進捗しています。				



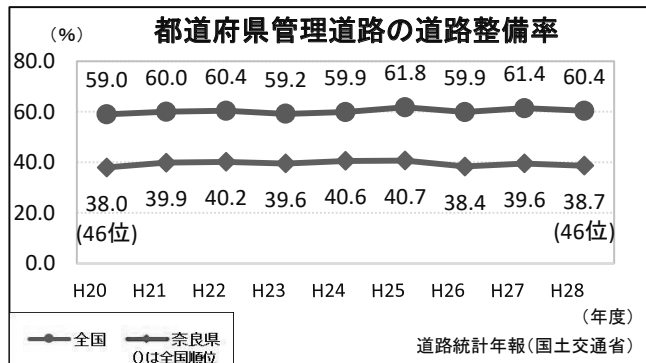
指標	浸水常襲地域における減災対策実施率(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	52	↑	67.7	87.2%	70
進捗状況	H26(2014)	15.7ポイント	H30(2018)	4年目 5	R1(2019)
	浸水常襲地域における減災対策緊急プログラムに基づき、平成20年度から減災対策河川に重点投資を行っており、平成30年度は新たに1カ所で対策を行ったため、浸水常襲地域対策箇所の減災対策実施率は67.7%となり、目標に向かって順調に進捗しています。				

2. 現状分析

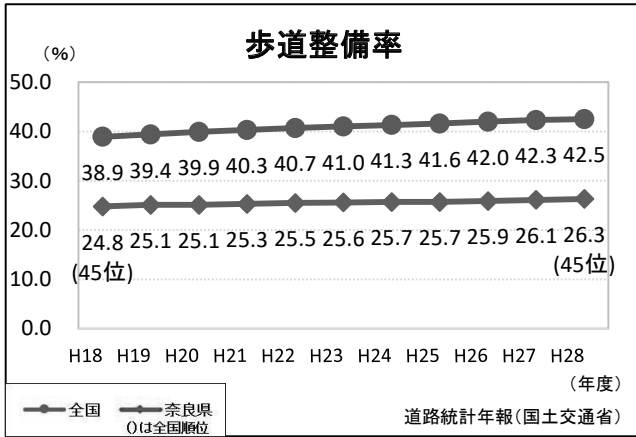


※は数値の低い方が良くなる指標です。

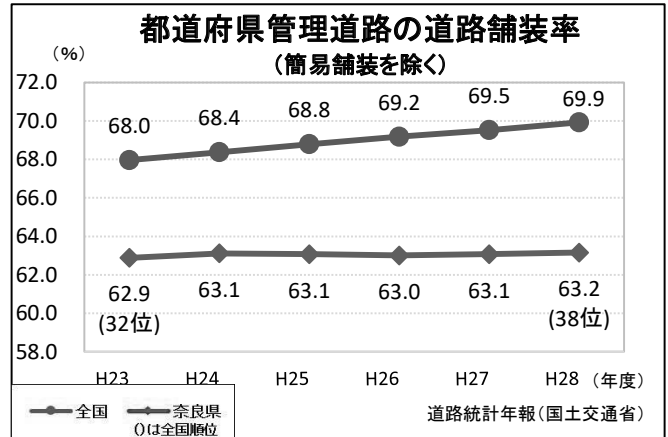
人口10万人当たり交通事故発生件数は概ね減少傾向にあり、全国と比べても少なくなっています。(→戦略2)



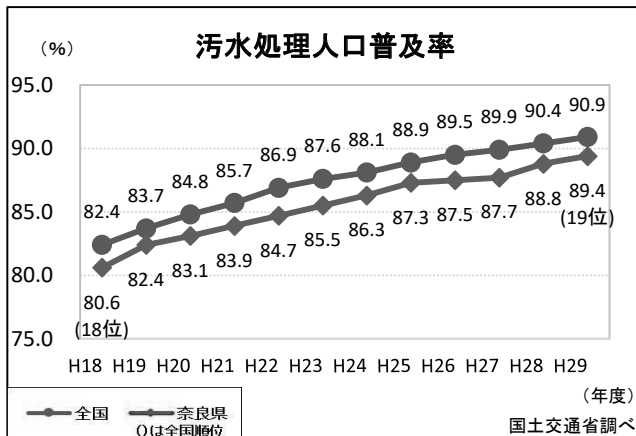
平成28年度の県管理道路の道路整備率は38.7%で、全国平均の60.4%と比べて大幅な遅れとなっています。(→戦略1)



歩道整備を推進したことにより、歩道整備率は増加していますが、全国と比べると依然として低い水準となっています。(→戦略2)



平成28年度の県管理道路の道路舗装率は平成23年度から0.3ポイント増加していますが、全国と比べると低い状態が続いています。(→戦略2)



平成29年度の汚水処理人口普及率は89.4%となり、前年度から0.6ポイント増加し、全国平均と同程度で推移しています。(→戦略2)

3. 平成29年度の評価及び平成30年度の取組等を踏まえ、令和元年度に向けて見直した内容

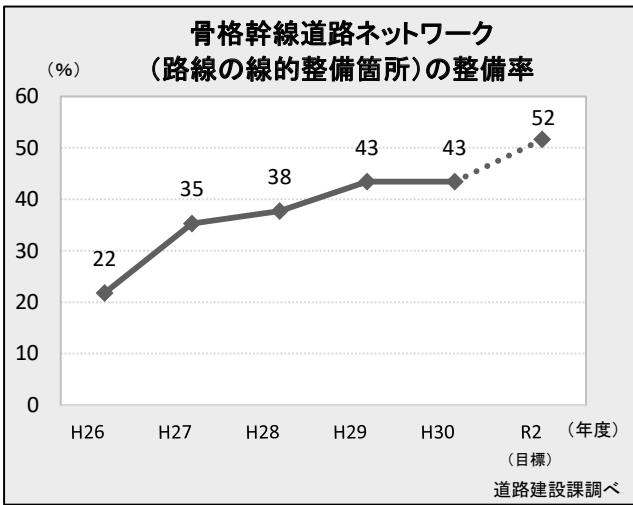
根幹的な社会資本の一つである道路の整備が他県に比べて大きく立ち遅れていることから、平成26年7月に「奈良県道路整備基本計画」を策定し、特に重要な路線網となる「骨格幹線道路ネットワーク」の重点的な整備を推進するとともに、多様化、複雑化する道路整備の取組を、目的志向を明確にしながら、体系的、総合的、計画的に進めてきた。令和元年度に改定予定の「奈良県道路整備基本計画」においても、引き続き「骨格幹線ネットワーク」の形成を推進するとともに、安全・安心を支える道路整備などを推進していきます。

4. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1	企業立地の支援、観光の振興等、地域経済の発展に寄与する基盤整備を推進します。
-----	--

主担当課(長)名
道路建設課長 松田 浩之

戦略目標



指標①	骨格幹線道路ネットワーク(路線の線的整備箇所)の整備率(%)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	22	↑	43	71.3%	52
	H26 (2014)	21.4ポイント	H30 (2018)	4年目 6	R2 (2020)
進捗状況	骨格幹線道路ネットワークについて、重点的に整備し、線的整備箇所(%)の整備率は平成26年度から21ポイント上昇し、約43%となりました。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
② 都市計画区域内人口1人当たり都市公園面積(m ² /人)	平成30年3月に平城宮跡歴史公園が一部開園し、都市公園面積が増加したことから、実績値が13.5m ² /人となり、目標に向かって進捗しています。	12.7	↑	13.5	88.9%	13.6
		H26 (2014)	0.8 m ² /人	H29 (2017)	3年目 6	R2 (2020)

主な取組指標等

骨格幹線道路ネットワークや企業立地・観光振興に資する道路整備①		
京奈和自動車道の整備率(%)		
50	↑	65
H26 (2014)	15ポイント	H30 (2018)

骨格幹線道路ネットワークや企業立地・観光振興に資する道路整備①		
国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率(%)		
10	↑	17
H26 (2014)	7ポイント	H30 (2018)

目標達成に向けた成果

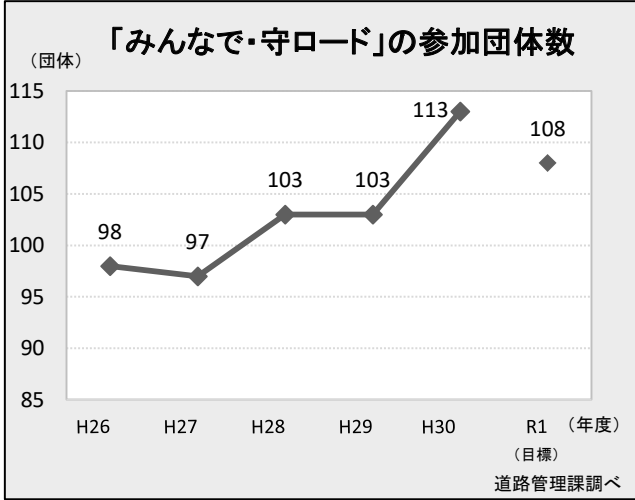
平成30年12月に国道169号伯母峯峠道路、平成31年3月に京奈和自動車道大和北道路((仮称)奈良IC~郡山下ツ道JCT)の工事が着手されました。(①)

リニア中央新幹線「奈良市附近」駅位置の早期確定及び三重・奈良・大阪ルート(の早期実現に向け、国への要望活動等の実施に加え、平成29年度に引き続き、3府県で一致団結して、三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会を開催しました。

戦略2 日常生活の利便性・快適性向上を推進します。

主担当課(長)名
道路管理課長 六車 憲雄

戦略目標



「みんなde・守ロード」の参加団体数(団体)					
指標①	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	98	↑	113	150.0%	108
	H26 (2014)	15 団体	H30 (2018)	$\frac{4}{5}$ 年目	R1 (2019)
進捗状況	県土木事務所から、各地域の自治会に向けて働きかけ等を実施したため、平成30年度の「みんなde・守ロード」の参加団体数は、前年度から10団体増加し、113団体になりました。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
② 汚水処理人口普及率 (%)	平成29年度の実績値は89.4%で、全国平均90.9%と同程度で推移しています。	87.5	↑	89.4	25.0%	95.1
		H26 (2014)	1.9 ポイント	H29 (2017)	$\frac{3}{11}$ 年目	R7 (2025)

主な取組指標等

安全で安心な歩行空間の確保		
市街地幹線道路の無電柱化率 (%)		
6.2	↑	10.2
H24 (2012)	4.0 ポイント	H30 (2018)

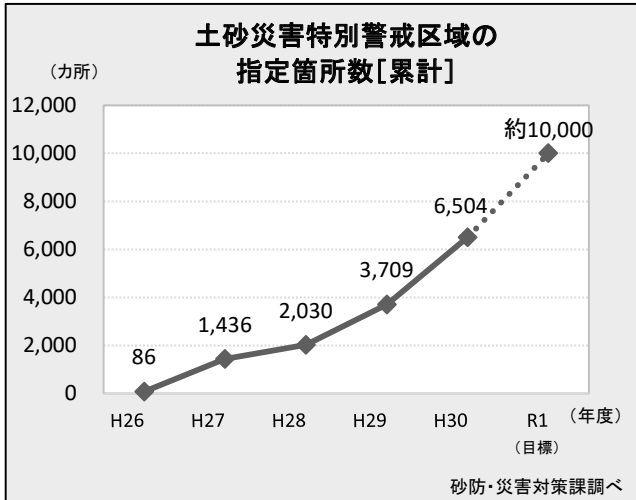
安全で安心な歩行空間の確保		
歩道整備率 (%)		
25.5	↑	26.3
H24 (2012)	0.8 ポイント	H28 (2016)

効率的・効果的な維持管理体制の確立(①)		
ボランティア支援各プログラムのサポート団体数[累計](団体)		
176	↑	178
H26 (2014)	2 団体	H30 (2018)

戦略3 災害への備え等強靱な県土整備を推進します。

主担当課(長)名
砂防・災害対策課長 桜井 亘

戦略目標



指標①	土砂災害特別警戒区域の指定箇所数[累計](カ所)				
	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
	86	↑	6,504	64.7%	約10,000
	H26 (2014)	6,418 カ所	H30 (2018)	4/5 年目	R1 (2019)
進捗状況	平成30年度は、新たに2,795カ所を土砂災害特別警戒区域に指定したことにより、土砂災害特別警戒区域の指定箇所数は累計6,504カ所となり、目標に向かって進捗しています。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
② 国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率(%)	国道168号五條新宮道路(奈良県域)の整備率について、平成26年度より7ポイント上昇し、17%になりました。	10	↑	17	78.9%	19
		H26 (2014)	7 ポイント	H30 (2017)	4/6 年目	R2 (2020)

主な取組指標等

土砂災害対策の推進①		
土砂災害防止法に基づくハザードマップを作成・公表し、防災訓練を実施した市町村の割合(%)		
64	↑	85
H24 (2012)	21 ポイント	H30 (2018)

安全・安心を支える道路整備の推進		
道路法面防災の要対策箇所の対策率(%)		
17.4	↑	20.3
H26 (2014)	2.9 ポイント	H30 (2018)

安全・安心を支える道路整備の推進		
奈良県橋梁寿命化修繕計画(橋長15m以上)に基づく橋梁補修・耐震補強の実施率(%)		
95	↑	99
H26 (2014)	4 ポイント	H30 (2018)

目標達成に向けた成果

平成31年2月に国道168号長殿道路(十津川村)の工事が着手されました。(②)

リニア中央新幹線「奈良市附近」駅位置の早期確定及び三重・奈良・大阪ルートの早期実現に向け、国への要望活動等の実施に加え、平成29年度に引き続き、3府県で一致団結して、三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会を開催しました。

5. 令和2年度に向けた課題の明確化

目指す姿(再掲)

令和2(2020)年度までに、道路整備の完了宣言箇所における供用箇所数を累計53カ所にし、浸水常襲地域における被害軽減のための減災対策を概ね7割の地域で完了させるなど、経済の活性化や暮らしの向上に資する基盤整備の取組を進めます。

<奈良県の持っている強み>

- 1 歴史文化遺産や自然環境に恵まれている
- 2 リニア中央新幹線について、平成23年5月に全国新幹線鉄道整備法に基づき決定された整備計画において、主要な経過地として「奈良市附近」と定められている

<奈良県の抱えている弱み>

- 3 高度成長期に整備された社会資本の老朽化
- 4 中山間地域では、崩壊等で道路が通行止めになると迂回路も少なく、集落が孤立化する懸念
- 5 県管理道路の道路整備率は約39%で全国平均約60%と比べて大幅な遅れ
- 6 県管理道路の歩道整備率は約26%で全国平均約42%と比べて大幅な遅れ
- 7 大和平野では市街地の増加やため池の減少等により、保水力が低下
- 8 平成29年10月台風21号等による内水被害の発生

<奈良県への追い風>

- a 県民は、地震、台風、火災等の災害に強いまちづくりの推進を行政に期待
- b 国による平城宮跡歴史公園の整備
- c 国による国土強靱化計画の早急な実現に向けた「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」の取組の推進
- d 国において、リニア中央新幹線のターミナル駅となる新大阪駅の機能強化に関する検討を実施
- e 自転車利用者からは、「案内誘導の拡充」等を求める意見が多い
- f 国道169号伯母峯峠道路及び国道168号長殿道路、京奈和自動車道大和北道路((仮称)奈良IC~郡山下ツ道JCT)の工事が着手された
- g 全国的な通学路等の安全対策実施の動き

<奈良県への向かい風>

- h 紀伊半島大水害により、社会資本に甚大な被害
- i 紀伊半島大水害では、大規模な土砂災害が発生
- j 近年、1時間降水量50mm以上の局地的豪雨の発生割合が増加
- k 高まりつつある南海トラフ巨大地震等の巨大災害の発生
- l 奈良公園の利活用之际し、多くの規制が存在

<<強みで追い風を活かす課題>>

- [重要課題]リニア中央新幹線の建設促進(2,d)
- [重要課題]奈良の魅力を一層高める交通環境の充実(1,g)
- [重要課題]平城宮跡歴史公園の整備推進(1,b)

<<弱みを踏まえ追い風を活かす課題>>

- [重要課題]活力の基盤となる道路の整備推進(5,6,e,f)
- [重要課題]社会資本のアセットマネジメントの推進(3,a,c)
- [重要課題]通学路の危険箇所における安全対策の推進(6,g)
 - ・誰もが安心して暮らせるモビリティの確保(6,e,g)
 - ・効率的な下水道運営の推進(3,c)

<<強みで向かい風を克服する課題>>

- [重要課題]奈良公園基本戦略に基づく施策の推進(1,l)

<<弱みを踏まえ向かい風に備える課題>>

- [重要課題]紀伊半島アンカールート等の災害に強い道路整備の推進(4,5,h,i,j,k)
- [重要課題]大和川総合治水対策(貯める対策)、浸水常襲地域における減災対策、奈良県平成緊急内水対策事業の推進(7,8,j)
- [重要課題]先行的保全施設への土砂災害対策の推進(4,i)
 - ・大規模土砂災害の監視・警戒・避難のシステムづくり(4,h,i,j)

6. 平成30年度の評価及び令和元年度 of 取組等を踏まえた、令和2年度以降の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
リニア中央新幹線の建設促進(戦略1,3)	「奈良市附近」駅の位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定を、引き続き国等に対し強く要望します。また、建設促進を図るため、地元自治体に協力を求められる事項やその受入体制等について検討します。
奈良の魅力を一層高める交通環境の充実(戦略1)	奈良公園バスターミナルの活用による観光バスの流入抑制を進めるとともに、公共交通機関の利用促進や、「ぐるっとバス」の活用によるマイカーの流入抑制対策により、今後も渋滞対策を推進します。
平城宮跡歴史公園の整備推進(戦略1)	朱雀大路東側地区の整備における歴史体験学習館の機能等について、各方面の専門家からなる検討委員会において検討を進め、整備計画を立案し、早期完成に向けて整備を推進します。

弱みを踏まえ追い風を活かす課題	今後の取組方針
活力の基盤となる道路の整備推進(戦略1,2,3)	今後5か年の道路の方向性を示す奈良県道路整備基本計画(令和元年度改定予定)に基づき、京奈和自動車道等の骨格幹線道路ネットワークの形成と併せ、目的志向の道路整備を推進します。
社会資本のアセットマネジメントの推進(戦略2)	橋梁、トンネル等の道路施設、河川管理施設、下水道施設、都市公園施設等の計画的・効率的な維持管理・更新、耐震化を推進します。また、社会資本の維持管理におけるボランティア活動等、県民との協働を推進します。
通学路の危険箇所における安全対策の推進(戦略2)	道路管理者、市町村教育委員会、警察による合同点検で確認された危険箇所について、安全対策を推進します。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
奈良公園基本戦略に基づく施策の推進(戦略1)	吉城園周辺地区、高畑町裁判所跡地の保存管理・活用等の整備を推進します。

7. 平成30年度の評価及び令和元年度 of 取組等を踏まえ、令和2年度以降に見直す内容

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
紀伊半島アンカールート等の災害に強い道路整備の推進(戦略3)	南海トラフ巨大地震等への備えとして、災害時に緊急輸送道路として役割を果たす紀伊半島アンカールート等の整備を推進します。
大和川総合治水対策(貯める対策)、浸水常襲地域における減災対策、奈良県平成緊急内水対策事業の推進(戦略3)	圏域別治水対策協議会や大和川流域総合治水対策協議会を開催し、流域対策の具体的検討を進めるとともに、国・市町村と連携し、大和川流域整備計画を見直します。内水による床上・床下浸水被害の解消に向け市町村との連携により、各支川に必要な貯留施設等の適地候補地の抽出及び内水被害の解消に必要な効果の検証を行い、地元調整等を経て順次対策工事を行います。
先行的保全施設への土砂災害対策の推進(戦略3)	土砂災害特別警戒区域内に存在する代替性のない要配慮者利用施設等を優先して実施します。

